

(陳受21第11号)

三鷹駅北口の「まちづくり基本構想検討協議会（仮称）」の設置を求めることに関する陳情

受理年月日	平成21年12月16日
陳情者	西久保1-3-2 武蔵野三鷹駅北口の環境を考える会 代表 山脇 貞司 ほか5名
陳情の要旨	

私たち「武蔵野三鷹駅北口の環境を考える会」は、三鷹駅北口に建設中の大型マンション北棟1階の「公共スペース」の使い方について、「市民の要望を聴く会」の開催を求める陳情をいたしました。幸いにも9月8日の総務委員会において全委員の賛同を得、同月16日の本会議においても全会一致により採択されました。市議会の皆様には感謝するところです。ところが「要望を聴く会」の開催は当初、市の担当者によれば今年12月末までという話でしたが、その後「様々な点について検討が必要で、議会とのタイミングなどがあり、当初の想定より余計に時間を要している」と報告があったきり、いまだに日程の連絡がありません。はっきりとした理由も述べられず日程を引き延ばす姿勢はまことに遺憾であります。行政担当者には速やかな開催を要望し、市議会の皆様にも議会で採択されたこの案件について早急な対応を行政に強く求めるようお願いいたします。

ところで11月20日に三鷹駅北口の「かたらいの道」の入り口に当たる敷地に、突然「遊技場」建設の標識が設置され、12月12日の事業者説明会で、その具体的な業種が「パチンコ店」であることがわかりました。最近のパチンコは著しく射幸性が強くなり、大金を注ぎ込み、家計を破綻させたり、パチンコ依存症患者を生むなど社会問題となっております。もし上記の「公共スペース」が、本来の目的のとおり教育・文化、福祉、コミュニティ等の公共施設として位置づけられていれば、「パチンコ店」進出への何らかの抑止効果を持ち得たのではないかと、残念でなりません。行政担当者に「かたらいの道」の入り口であり、三鷹駅の北口は多くの市民が文化的な色合いを望む地域なので、パチンコ店の建設を中止させられないかと要望いたしました。積極的な回答はいただけませんでした。市議会の皆様にもこの問題の解決にご尽力をお願いいたします。

三鷹駅北口が属する中央地域は「武蔵野市都市マスタープラン」では「緑にあふれ、地域の文化が香るまちづくり」が基本方針です。「かたらいの道」は市民文化会館、図書館をはじめ市民施設ゾーンにつながるため、武蔵野市が道路及び沿道整備に力を注いできた道です。その入り口にパチンコ店の建設計画が浮上した一因は三鷹駅北口のまちづくりの具体的な方針が決まっていなかったためです。三鷹駅周辺には北口ロータリーの歩行者と自動車の動線の再検討、駐輪施設の高度利用を視野に入れた再整備、玉川上水の環境保全と景観整備など様々な課題を抱えています。これらの課題を解決するには市民の意見を反映させ、行政とともに検討を重ねることが一番の早道です。「武蔵野市第四期長期計画・調整計画」は、第一番として「三鷹駅周辺地区の将来像の検討」を挙げています。武蔵野市の玄関口ともいべき三鷹駅北口周辺地区のまちづくりのあり方を総合的に検討し、多くの関係者が共有し、協働して担える将来像を描くため、「三鷹駅北口のまちづくり基本構想検討協議会（仮称）」を早急に設置されることを求め、下記のとおり陳情いたします。

記

- 1 「市民の要望を聴く会」を速やかに開催すること。
- 2 「かたらいの道」の入り口の「パチンコ店」の建設を中止させること。
- 3 「三鷹駅北口のまちづくり基本構想検討協議会（仮称）」を早急に設置すること。